

平成 18 年 11 月 15 日

各 位

会社名 株式会社 平 和
代表者名 代表取締役社長 石橋 保彦
(コード番号 6412 東証第一部)
問合せ先 経営企画室長 坂本 浩之
(TEL. 03 - 5770 - 8211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 25 日に公表した平成 19 年 3 月期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)の中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期 業績予想数値の修正(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

単独 中間期 (単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想(A)	26,240	2,400	2,400
今 回 修 正 予 想(B)	21,928	1,527	1,036
増 減 額(B - A)	4,311	3,927	3,436
増 減 率(%)	16.4%		

連結 中間期 (単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想(A)	34,830	3,030	3,040
今 回 修 正 予 想(B)	29,984	1,216	488
増 減 額(B - A)	4,845	4,246	3,528
増 減 率(%)	13.9%		

単独 通期

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	81,580 ~ 93,540	7,220 ~ 12,290	4,260 ~ 7,250
今 回 修 正 予 想 (B)	84,460	9,030	5,270
増 減 額 (B - A)	2,880 ~ 9,080	1,810 ~ 3,260	1,010 ~ 1,980
増 減 率 (%)	3.5% ~ 9.7%	25.1% ~ 26.5%	23.7% 27.3%

連結 通期

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	98,750 ~ 110,710	7,810 ~ 12,880	4,500 ~ 7,490
今 回 修 正 予 想 (B)	100,000	9,130	4,910
増 減 額 (B - A)	1,250 ~ 10,710	1,320 ~ 3,750	410 ~ 2,580
増 減 率 (%)	1.3% ~ 9.7%	16.9% ~ 29.1%	9.1% ~ 34.4%

<ご参考>

(単位：百万円)

			売 上 高	経 常 利 益	当 期 (中 間 期) 純 利 益
平成 17 年 3 月 期	単 独	通 期	37,877	4,220	2,532
	連 結	通 期	42,551	3,981	1,787
平成 18 年 3 月 期	単 独	中 間 期	24,707	4,969	3,111
		通 期	61,057	10,492	7,167
	連 結	中 間 期	33,139	5,158	3,223
		通 期	77,560	10,816	7,023

2. 修正の理由

単独 中間期

パチンコ機事業については、「探偵物語」、「マハラジャ」、「エースを狙え」など 6 シリーズを販売いたしました。65,000 台の販売予算に対して 55,388 台の販売となり、予算を下回る結果となりました。これは、当社販売機種に対するパチンコホールの評価が厳しく、販売台数が伸び悩んだためであります。

また、パチスロ機事業については、新規機である「ゴルゴ 13」を販売したほか、昨年販売した旧規則機である「麻雀物語」を再販売いたしました。35,000 台の販売予算に対して 27,023 台の販売となり、予算を下回る結果となりました。これは、上期のパチスロ機市場における新規機の需要が当社の予想を下回ったことから、上期に予定していた新規機の販売を下期に延期したことによるものであります。

一方で、自社開発機の販売比率が向上したことに加え、販管費の圧縮及び金融デリバティブ取引による評価益により、利益は予算を上回る結果となりました。

これらの理由に基づき、期初に公表した単独中間期の業績予想を上記のとおり修正いたしました。

連結 中間期

連結中間期の業績予想につきましては、上記単独中間期の修正理由により、上記のとおり修正いたしました。

単独 通期

パチンコ機事業については、下期に発売を予定していた新製品「SS」3 シリーズを 2 シリーズにしたことから、販売台数予算を 240,000 ~ 300,000 台から 240,000 台に修正いたします。

他方、パチスロ機事業については、今後の市場動向を勘案して販売計画を一部見直したことから、販売台数予算を 65,000 台から 82,000 台に修正いたします。

これらの理由に基づき、期初に公表した単独通期の業績予想を上記のとおり修正いたしました。

連結 通期

連結通期の業績予想につきましては、上記単独通期の修正理由により、上記のとおり修正いたしました。

以上